

OES005-P09

会場:コンベンションホール

時間: 5月23日17:15-18:45

山陰海岸ジオパークにおける広域的活動

Wide ranging activities of San'in Kaigan Geopark

石本 顕一^{1*}

Ken'ichi Ishimoto^{1*}

¹山陰海岸ジオパーク推進協議会

¹San'in Kaigan Geopark Promotion Council

山陰海岸地域では古来より郷土愛から発する熱意をもって地域住民による保護・保全活動が展開され、美しい景観が維持されてきた。1955年にはその美しい海岸地形とそこに生息する独特な動植物から、国定公園の指定を受け、その後1963年に国立公園に指定され、今日に至っている。

山陰海岸ジオパークの特徴は、まさに「地形・地質の博物館」である。ここでは、約2500万年前にさかのぼる日本海形成に関わる多様な火成岩類や堆積層、日本海の海面変動や地殻変動によって形成されたリアス式海岸や砂丘をはじめとする多様な地形など、貴重な地形・地質遺産を多く観察することができる。ジオパークのエリア内は、古くから人々の生活の場となっており、多様な自然を背景にした人々の文化・歴史を学ぶことができる。

このような特徴を生かし、山陰海岸ジオパーク地域を人と自然（人類と大地）の将来のあり方を考える場として捉え、今後の地域づくりのモデルとなるよう先導的な取組に挑戦している。

当ジオパークエリアは、3府県に渡る広域なエリアであるが、連携をさらに強化し、地域を主体とした持続的なジオパーク活動の展開を図っている。本大会では、現在の課題と活動状況等について主に発表を行う。

キーワード:山陰海岸,ジオパーク,多様性,広域的活動

Keywords: San'in Kaigan, Geopark, Diversity, Wide ranging activity